

日本医事法学会・東京大学科学研究費補助金事業 共催

特別 WEB シンポジウム

「感染症対策の法と医療——新型コロナ問題の背景は何か」

2020(令和2)年8月30日(日)10時～17時(予定)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界各国において様々な影響を及ぼしている。従来、日本の医事法学においては、感染症対策や公衆衛生政策に関して必ずしも精力的な検討が行われてきたとは言えない。しかし、これらの領域では、精神医療などと同様に全社会的利益と個人の私的利益の調整が必要であり、そのための適正な実体的要件と手続の整備が必要である。これは医事法が主体的に扱うべき問題である一方で、今回の新型コロナウイルス感染症のように国民一般の大幅な行動制限を要する場面については十分な検討がされてこなかったため、法制度の側が十分な実体的・手続的な枠組みを提供できていないことが指摘できる。

本特別シンポジウムでは、これまでの政府・専門家会議の中でどのような検討が行われてきたのか、医療体制の逼迫状況はなぜ生じているのかなど、これまでの事実経緯に関する情報と、現在の状況を理解するために必要な法学・公衆衛生学・生命倫理学等の背景的知識を提供すべく、各分野の専門家にお集まり頂き、各分野の情報発信および議論を行うこととしたい。

1. 米村 滋人(東京大学教授・医師)「企画趣旨 ——感染症の法・医療と問題状況」
2. 手嶋 豊(神戸大学教授)「感染症対策と医事法学」
3. 武藤 香織(東京大学医科学研究所教授)「COVID-19 の専門家助言組織の課題」
4. 斎藤 智也(国立保健医療科学院健康危機管理研究部部長)「COVID-19 パンデミックと感染症法等に基づく公衆衛生対策」
5. 磯部 哲(慶應義塾大学教授)「感染症法・特措法の仕組みに関する医事行政法的考察」
6. 津久井 進(弁護士)「感染症対策・医療提供体制と災害法制」
7. 西山 隆(医師・自衛隊中央病院救急科)「新型コロナで明らかになった医療提供体制の問題」
8. 藤田 卓仙(WEF 第四次産業革命日本センタープロジェクト長、慶應義塾大学特任講師)「COVID-19 を含む感染症対策のための IT 活用」
9. 宍戸 常寿(東京大学教授)「危機の時代と憲法 ——公衆衛生と移動・営業の自由、プライバシー」

(※報告タイトル・順序は仮のものです)

方 式 Zoom を利用したウェビナー(学会会員)、YouTube ライブ配信(一般)

日本医事法学会の会員は当日、本シンポジウムに参加できます。参加を希望する方は学会に届け出ている住所に送付する葉書、または、日本医事法学会会員メーリングリストを通じて送信するメールに従い、8月25日(火)までに参加登録を行なってください。

なお、会員以外の方は視聴のみ可能です。

<https://www.youtube.com/channel/UCL0S7w0nHsaLK9Ok95l7Wjw>

(当日参加・視聴できない方につきましては、一定期間動画を公開する予定です。詳しくは本サイトにて追ってお知らせいたします。)

問い合わせ先

特別 WEB シンポジウム運営事務担当 jaml2020symposium@gmail.com

以上